

# 事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	市道新設改良整備事業（旧競馬場関連道路）			事業コード	2418
所属コード	083000	課等名	建設部 道路建設課	係名	道路第一係
課長名	小西 一士	担当者名	平野 匡祐	内線番号	2731
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	快適な居住環境の実現	コード	3
	基本事業	生活道路環境の向上	コード	1
予算費目名	一般会計 8 款 2 項 3 目 市単独道路新設改良事業（002-05）			
特記事項	総合計画主要事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	平成 14 年度	
根拠法令等	道路法			

### (2) 事務事業の概要

盛岡市上田字堤頭地内，旧盛岡競馬場跡地における延長 1,240m，幅員 10～18m の道路新設工事

### (3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

当路線は，旧競馬場跡地利用計画に伴い，地区内アクセス道路及び東西道路として整備し，これまで分断されていた周辺地域の交流・利便性を確保するものである。また，小学校や主要施設（跡地内の施設も含む）へのアクセスも可能とするために，平成 14 年度から着手した。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

旧盛岡競馬場跡地は，地域住民の憩いの場となっている高松公園に隣接し，良好な住宅地に囲まれた周辺環境を有しており，風致地区にも指定されている特性を生かした保健福祉施設や公園広場といった社会資本整備への土地利用が求められている。跡地利用については，市民が注目している案件の一つとも認識しており，継続して道路整備外も進める必要があると考える。全庁的な跡地利用計画に基づき関係各課の調整及び予算確保が重要となる。

## 2 事務事業の実施状況 (Do)

### (1) 対象（誰が，何が対象か）

市道（生活道路）

生活道路利用者（車輛，歩行者，沿道住民）

### (2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 事業計画総延長	m	1240	1240	1240	1240	1240
B						
C						

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

用地買戻し

函渠設計・特殊マンホール設計

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 整備(供用)延長	m	0	0	0	0	620
B						
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

防災機能や幹線道路へのアクセス機能を高め、住民の利便性や安全性の向上を図る。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 整備(供用)延長累計	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	m	380	380	380	380	1000
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	69,700	0	11,400	6,840
	④一般財源	千円	3,722	0	600	760
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	73,422	0	12,000	0
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	750	20	750	750

	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	3,000	80	3,000	3,000
計	トータルコスト A+B	千円	76,422	80	15,000	10,600
備考						

### 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

#### (1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

##### ① 施策体系との整合性

道路整備により、安全で円滑な通行確保はもとより沿道の有効な土地利用も促進されることから結びついている。

##### ② 市の関与の妥当性

不特定多数の市民等が利用する公共施設であり、税金を使い道路整備を行うことに問題はない。

##### ③ 対象の妥当性

市道及び市道利用者以外を対象とすることは本事業以外の要素も関わるので広げられない。また、不特定多数の市民等が利用するためこれ以上絞ることもできない。

##### ④ 廃止・休止の影響

旧盛岡競馬場跡地整備事業の基盤整備事業としての道路整備であり、跡地内整備事業全体の進捗に影響を及ぼすこととなる。

#### (2) 有効性評価 (成果の向上余地)

跡地利用計画に伴う道路整備であることから向上余地はない。

#### (3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

道路は不特定多数の歩行者 (車輻) が利用する施設であることから公平である。不特定多数の歩行者 (車輻) が利用する施設であることから、住民に対し受益者負担は求められない。

#### (4) 効率性評価

道路構造 (幅員) や用地補償等については、一定基準で算定していることから削減できない。事業説明や交渉及び現場確認等の事業を円滑に行うためには必要最小限の人員であり、人件費の削減は難しいが、地権者交渉や関係機関との協議等を早期に行い、また、積算システム等導入に伴う電算化により計画的・効率的な執行の推進に努めることは可能である。

### 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

#### (1) 改革改善の方向性

#### (2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

## 5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

### (1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

### (2) 全体総括・今後の改革改善の内容

全体総括としては、旧競馬場跡地利用計画に基づき、関係各課が協議しながら進めてきており、関係機関との調整や他課事業の進捗に大きく左右される部分があるものの、全体スケジュールに概ね整合するよう進めてきたものと思っている。

今後の改革改善については、これまで同様企画調整課主導のもと、関係課との協議を綿密に計りながら、全体を考えながら相互に協力し合って事業推移に務めること。